



働くってどんな感じ？ 垂水高校生徒がインターンシップ（職場体験学習）



7月12日から3日間、垂水高校のインターンシップ研修生4名が、垂水市立図書館や子育て支援センター等で図書の貸し出しや整理、子どもへの絵本の読み聞かせや創作活動等を体験しました。当期間中、研修生たちは自分に割り振られた仕事に対して、真剣に取り組んでいました。今回の体験を通して勤労観や職場感を肌で感じ、将来の目標を定める一つの材料になったかと思います。夢や目標に向かって、これからも頑張ってください！

■ 木場 聖さん

昔から身近にあった図書館の仕事について初めて知ることが多く、本も予想以上にたくさんあって驚きました。

■ 中崎 聖羅さん

図書館は意外と、体力を使う仕事が多かったです。一つ一つ仕事をこなした後は、達成感があって楽しかったです。



▲図書館でお仕事の中、中崎聖羅さん（左）木場聖さん（右）

■ 小田 百香さん

私は保育士になるのが夢なので、実際子どもたちとふれあってみて、とてもいい勉強になりました。

■ 田中 円さん

元気いっぱいの子どもたちとふれあって楽しかったです。子どもと接する職員の方を見ながら、色々学ぶことができました。



▲子育て支援センターでお仕事の中、小田百香さん（左）田中円さん（右）



地域の安全のために 夏の交通事故防止運動出発式及び街頭キャンペーン



7月11日、交通事故防止の徹底を図る「夏の交通事故防止運動」出発式及び街頭キャンペーンが行われました。これは、夏の交通事故防止運動期間中に、多くの方に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、全国各所で行われているものです。当日は、出発式が鹿屋警察署垂水幹部派出所で行われ、同署の有村和行署長は「県内・垂水市内の交通事故の発生率は前年に比べ減少はしていますが、依然として予断を許さない状況です。市民の皆様が毎日安心安全に過ごして生活できるよう、地域ぐるみで交通事故防止活動を行い、事故の起きにくい街づくりを進めていただきたいと思います」と話しました。その後、荒崎パーキングエリアにて行われた街頭キャンペーンでは、和光保育園園児による手作りの交通安全お守りや、飲料水等をドライバーに手渡して声かけ運動を行い、交通安全の啓発活動に取り組みました。一人一人が交通安全の意識を持つことが大切です。交通事故防止運動期間中のみならず、常に安全確認を意識してドライバーも歩行者も安心して過ごせるよう、交通事故防止に努めましょう。



▲交通事故防止運動出発式



▲街頭キャンペーンの様子



大隅森林組合から事務用品の寄贈



7月6日、大隅森林組合（鹿屋市）から垂水市役所へ地元材を使用した木製用箋バサミ 50点と木製ペン立て 50点、計 100点の事務用品を寄贈いただきました。同組合は、地域の森林管理を主体としており、高峠つつじヶ丘公園の整備等でご縁があることから、今回本市に寄贈いただくことになりました。来庁された下清水久男代表理事組合長は「地元の木材を使った品なので、木の香りも楽しみながらご活用ください」と話しました。寄贈いただいた事務用品は市内各小中学校に配布する予定です。



税金について学ぼう！ 水之上小学校で租税教室



7月13日、水之上小学校6年生児童が税金について学ぶ出前授業がありました。これは、税金の役割等を理解し、健全な納税者意識を育むことを目的に、垂水市役所税務課職員が市内小学校高学年向けに行うものです。当日は、税金の種類や小学生にも身近な消費税について学び、税金の役割が分かるDVDを視聴する等、税金に関する知識を深めました。宇住庵美羽さんは「今まで税金が必要か分かりませんでした。税金があるから安心安全に生活できると知りました」と話しました。



垂水市漁業協同組合 SDGs（持続可能な開発目標）宣言



7月4日、海潟漁港内の味処海の桜勤で垂水市漁業協同組合 SDGs 宣言式が開催されました。これは、経営理念である「私達はお客様に安全で信頼され満足していただけるフードサービスを提供し、商品に付加価値を生み出す事で組合員の生活の向上に寄与します」を具現化するため、SDGsの達成に向け取り組んでいくものです。同組合の岩切隆美組合長は「環境や資源を守り、養殖や漁業を次の世代へ受け継ぐ為に、一人一人が意識し、漁業者、職員一丸となって取り組んでいきたいと思います」と話しました。



台湾僑務委員会僑務顧問 山田怡如さんが表敬訪問



7月7日、台湾僑務委員会僑務顧問の山田怡如さんが市長室を表敬訪問しました。台湾出身の山田さんは、長年鹿児島で通訳や輸入業の仕事に勤め、現在は僑務顧問として鹿児島と台湾の友好交流促進活動を行っています。今回、パイナップルの一大産地である台湾の屏東県との物流交流や、鹿児島港と高雄港（屏東県隣）の航路を活用した観光交流等の更なる促進を願い訪問されました。山田さんは「屏東県産パイナップルは芯まで食べられて美味しいので、是非食べていただきたいです」と話しました。



僑務委員会：海外在住の台湾出身者に関する業務全般を管轄する省庁